

7
2017

三重病院

ニュースレター

news letter vol.215



01 TORCH 症候群ってご存知ですか？

三重県立子ども心身発達医療センター
異動のごあいさつ
医療安全川柳〈7月〉

03 三重病院のサラムシ^⑬ コミュニケーション研修を開催しました！ 「やまぼとギャラリー」情報コーナー 5病棟の生活のひとコマ^⑳

04 アレルギー教室のクッキング 食中毒予防の3原則 外来からのお知らせ／外来診察のご案内

TORCH症候群ってご存知ですか？

妊娠中にお母さんがかかった感染症の中に、胎盤を通して赤ちゃんに感染し、脳や聴力などに重篤な奇形や恒久的な臓器・神経・感覚器障害を引き起こすものがあります。それらの代表的なものの頭文字を取って名づけたものが、TORCH症候群です。

その病原体は、T：トキソプラズマ原虫、O：その他（梅毒など）、R：風疹ウイルス、C：サイトメガロウイルス、H：単純ヘルペスウイルスです。

日本では、サイトメガロウイルスとトキソプラズマによる胎児感染症の頻度が高く、先天性サイトメガロウイルス感染症は毎年およそ1000人の障害の原因になり、トキソプラズマも数百人が胎内感染を起こしているといわれています。これらの感染症にお母さんがかかっても、はっきりとした症状がでないことも多いのですが、赤ちゃんには感染してしまうのです。先天性風疹症候群（先天性心疾患、難聴、白内障などをきたす）はワクチンで予防することが可能な感染症です。妊娠中には接種できないため、妊娠する前に自身と周囲の方々の風疹に対する免疫力の検査（抗体検査）を行ったり、風疹のワクチンを接種することが重要です。抗体検査やワクチン接種には補助金が出る場合や無料で行ってくれる市町村があります。ご自身がお住まいの市町村について調べてみてください。また風疹ワクチン接種後2ヶ月間は避妊して下さい。

風疹以外のトキソプラズマとサイトメガロウイルス感染症などを予防するワクチンはありませんが、感染経路とその予防方法を知っていることで赤ちゃんへの感染を防ぐことができます。妊婦さんはもちろん、妊娠を考えている女性、その周りの方々にも気をつけてほしいと思います。

① トキソプラズマ

家畜の肉やネコの糞、土の中などにいる目には見えない原虫です。健康な人に感染しても全く問題はありませんが、妊婦が初めて感染した場合は、赤ちゃんにも感染がおよび、流産や死産、脳や眼の障害が生じます。

【妊娠中のかたは、以下の点に注意してください】

- 1) 生肉・非加熱食品を食べない！この原虫は肉に含まれており、67度以上に加熱しないと死にません。

生ハムやレアな肉など加熱不十分な肉は食べないようにし、それらを調理した器具で生食のサラダやフルーツを調理することも避けましょう。また殺菌されていないミルクやそれらから作られた乳製品も避けましょう。

- 2) 土いじりや水にも気をつけて！ 感染したてのネコが公園や庭、畑で糞をし、その中にトキソプラズマが含まれていることがあります。またその土で川や井戸水が汚染されている可能性があります。土いじりをするときは手袋や眼鏡、マスクを装着し、十分な手洗いをしてください。野菜などもしっかり洗って下さい。
- 3) ネコの糞！すべてのネコがトキソプラズマに感染しているわけではありませんが、ネコの世話をする場合は手袋や眼鏡、マスクで防御し、触ったあとは十分に手洗いをして下さい。

② サイトメガロウイルス

世界中のいたるところにいるウイルスです。母乳や子どもの唾液・尿中にも含まれ、性行為によっても感染します。日本の成人半数以上が既に感染し免疫を持っていますが、子どもも大人も健康であれば大きな問題となりませんが、妊婦が初めて感染した場合や妊婦の免疫がひどく低下した場合は、胎児への感染の可能性があります。

【特に妊娠中のかたは、以下の点に注意してください】

- 1) 石鹸と流水でしっかり手を洗ってください。
- 2) 子どものおむつ交換、食器や鼻水・よだれの処理など尿や唾液がついているものを扱うときは、その後念入りに手洗いをして下さい。
- 3) 子どもの食べ残し・飲み残しを口にしない。同じスプーン・箸は使わないようにして下さい。
- 4) 子どもへのキスは頬や唇へは避け、おでこなどにして下さい。
- 5) 妊娠中の性行為にはコンドームを使用して下さい。

さらに詳しいことは、

“トーチの会” <http://toxco-cmv.org/index.html> に記載されています。興味のある方はアクセスしてみてください。赤ちゃんを知識と注意で守っていきたいですね。

(小児科医師 中村 晴奈)